

3 指導業務

県内外の企業を対象に、各研究部が行った技術相談・指導及び依頼試験の実績は以下のとおりである。

3-1 技術相談及び指導件数

(1) 件数（月別）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
材料開発部	13	6	9	17	6	14	11	14	12	11	5	8	126
木材加工部	25	19	18	33	15	22	21	18	12	10	13	18	224
構法開発部	24	27	23	34	30	38	34	29	25	26	35	30	355
計	62	52	50	84	51	74	66	61	49	47	53	56	705

(2) 依頼者内訳数

（単位：件）

	企業・団体	行政機関	その他個人等	計
材料開発部	100	20	6	126
木材加工部	176	43	5	224
構法開発部	241	108	6	355
計	517	171	17	705

(3) 主な試験及び相談・指導内容

	内 容
材料開発部	・木製品の含水率試験・土木用材の耐久性・木材の化学加工・樹種の鑑定 ・防蟻、防腐試験 ・木材の抽出成分 ・塗料の耐候性試験 等
木材加工部	・高度乾燥技術開発 ・木材及び木質材料の各種強度性能 ・煮沸剥離試験 ・木製学童机試験 ・湾曲集成材、木製トレイ 等
構法開発部	・双子柱商品開発化支援 ・植樹祭木造施設設計支援、接合試験製材格付指導 ・西都原考古博物館(仮称)で圧密床開発実用化 ・木の花ドーム木造技術支援、部材試験等 ・西米良木橋維持管理対策 ・木造住宅実大偏心試験 ・で集成材剛接合部実大のモーメント試験 ・大宮高校木造体育館 設計、施工支援 ・日南天福球場木造スタンド屋根設計支援 ・高鍋高校木造体育館設計支援 等

3 - 2 依頼試験内訳

試験別	短柱圧縮試験	壁せん断試験	引張試験	曲げ試験	長柱圧縮試験	熱伝導率測定試験	小試験体強度試験	耐候性試験	接着試験	含水率試験	収縮膨張試験	乾燥試験／蒸気式	材質試験／低倍率	材質試験／グレーディング	材質試験／組織観察	化学試験／可視紫外線試験	動的ヤング係数測定試験	摩耗試験	成績書の副本	合計
試験回数	1	26	5	23	4	1	42	7	7	27	2	1	4	3	1	4	6	2	5	171
試験体数	1	26	161	102	12	2	803	7	17	459	11	6	4	120	1	4	19	2	5	1762
	依頼試験申請件数（試験別には重複有り）																			

3-3 研究会等の開催

3-3-1 シンポジウムの開催

木材関係者や一般県民を対象に、スギに関する諸問題を幅広く検討するため「スギシンポジウム」を開催した。開催内容は以下のとおりである。

研究会・講習会名	期 日	内 容	会 場	人 員
スギシンポジウム 2004 テーマ 「飛躍する木材利用と循環型社会」	2 / 12	1 基調講演 「なぜ、今木材か」 講師 宮崎県木材利用技術センター所長 東京大学名誉教授 有馬孝禮氏 2 特別講演 ・「地域に根ざす建築とまちをつくる木造技術の再構築」 講師 アルセッド建築研究所 代表取締役所長 芝浦工業大学教授 三井所清典氏 ・「宮崎県における木材乾燥の取り組み」 講師 宮崎県木材利用技術センター 材料開発部副部長 小田久人氏 ・「木造でオフィスビルを～中高層木造建築の可能性～」 講師 大橋 IH 研究所 所長 熊本県立大学助教授 大橋好光氏	宮崎観光ホテル	300 名

3-3-2 木材加工技術懇談会の開催

木材の需要拡大に繋がる研究開発をより推進するため、林業・木材産業の関連業界等の需要ニーズを的確に把握することを目的として、木材加工技術懇談会を開催した。

会 議 名	期 日	開催箇所	参加団体数	参加者数
第1回 木材加工技術懇談会	10 / 28	宮 崎 市 厚生年金会館	大学 : 1 団体 : 4 企業 : 4 行政機関 : 4	21 名
第2回 木材加工技術懇談会	3 / 19	都 城 市 宮崎県木材利用技術センター	団体 : 5 企業 : 7 行政機関 : 3	29 名

3-3-3 研究成果報告会

研究の成果を広くPRするために、関係業界、行政等に対し、各研究チームで取り組んでいる内容について報告会を行った。

報 告 会 名	期 日	開催場所	参加者数
当センターの研究成果の報告会	3 / 19	センター会議室	55 名

研究チーム名	発 表 課 題	発 表 者
材 料 開 発 チーム	木材精油を含んだ木材乾燥工程 排出液の有効利用（1） －消臭性能と抗蟻性能－	落 合 克 紀
乾燥・材質チーム	高含水率スギ心持ち柱材の高温 低湿乾燥法の検討	小 田 久 人
木 質 材 料 チーム	スギラミナ等級区分における マイクロ波の利用	森 田 秀 樹
構 造 強 度 チーム	スギ厚板を木ダボで接合した 合わせ梁の曲げ性能	田 中 洋
木 質 構 造 チーム	「木の花ドーム」の開発と低比重 材利用の実用化	飯 村 豊
木質化推進チーム	低比重県産材スギの圧密フロー リング直張り工法に関する研究	齋 藤 豊

3－3－4 各種研究会

研究会を通じて関係業界と技術的諸問題の調査研究及び情報交換を活発に行っている。

研究会名	期 日	会 場	内 容	参加人数
宮崎県木材利用研究会	2 / 6	センター 大会議室	講演 ・「木質科学研究所におけるプロジェクト研究の紹介」 －自然素材活用型真壁仕様木造軸組架構の開発－ 講演者：京都大学 小松教授 ・「平成15年6月の駆け込み着工」と今後の住宅着工と木材流通の変化 講演者：山田事務所 山田所長	60名

3－3－5 ホームページ

木材利用技術センターのホームページを開設し、センターの研究内容の紹介を含め、各種の情報提供を行っている。(カウント 3,725件)
うち、木材 Q & A には、全国から木材等に関する質問が9件あり、すべて回答を送信した。

ホームページアドレス <http://www.btvn.ne.jp/~miya-wurc/>

3-4 講師派遣

派遣職員	期 日	会 議 等 の 名 称	内 容	依 頼 者
飯村 豊	15/4/16	平成 15 年度宮崎県林業経営者協会総会	木材利用技術センターで取り組んでいる研究の概要	宮崎県林務部 木材振興課
飯村 豊	15/5/23	林野庁主催平成 15 年度全国木橋技術研修会（宮崎）	木橋の維持管理について	林野庁長官
有馬 孝禮	15/5/30	県森連総会講演	木材は今	県森林組合連合会
有馬 孝禮	15/7/7	群馬の木活用コーディネーター養成事業	環境・資源面からみた木材利用の意義	群馬県林業振興課
有馬 孝禮	15/7/8	平成 15 年度木材利用研究会	地球温暖化と木材利用について	宮崎県木材利用研究会
有馬 孝禮	15/7/23	平成 15 年度西臼杵林業振興協議会	木材利用側から見た林業・林産業への期待	西臼杵林業振興協議会
飯村 豊	15/8/8	木の芽会勉強会	木材に開かれた未来	日向木の芽会
飯村 豊	15/10/2	県営全天候型運動施設（仮称）見学会	県産スギ材による大断面集成材ドームの特徴	宮崎県林務部 木材振興課
有馬 孝禮	15/10/8	（社）産業と環境の会シンポジウム	地球温暖化防止対策と木材利用について	産業と環境の会
飯村 豊	15/10/16	平成 15 年度構造用集成材の製品計画及び製造に関する講習会	大断面木造建築物の施工計画	日本木材加工技術協会
飯村 豊	15/10/16	2003 年度日本木材学会木材強度・木質構造研究会 秋期シンポジウム	木造ドームの動向	日本木材学会

3-4 講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会 議 等 の 名 称	内 容	依 頼 者
藤本 英人	15/10/17	ロータリークラブ地区大会	木を大切に使うことによる地球環境保全	ロータリークラブ
有馬 孝禮 飯村 豊	15/10/25	建築士全国大会「宮崎大会」地域フォーラム「ひむか都城塾」	なぜ、今木材か 地球温暖化問題と資源の持続性について「地域材（スギ）と建築の未来」	宮崎県建築士会
有馬 孝禮	15/10/30	環境シンポジウム	なぜ、今木材なのか ー地球温暖化問題と資源の持続性についてー	都城市
有馬 孝禮	15/11/5	穴森サミット	地球温暖化と地域資源の活用	高千穂町他
有馬 孝禮	15/11/10	大分県もくもく塾	なぜ、今木材か 地球温暖化問題と資源の持続性について	大分県
飯村 豊	15/11/12	東臼杵地区木材需要拡大協議会	公共施設の大型木造構造物	東臼杵農林振興局
齊藤 豊	15/11/14	九州木青連理事会	建築側から見た木材について	九州木青会
有馬 孝禮	15/11/21	[木橋の技術とコスト評価に関する講習会]（熊本市）	木材は今、地球温暖化とテンバーエンジニアリングのたどった道	K A B S E
有馬 孝禮	15/11/22	山口木造塾	木の魅力と木造建築	（社）山口県建築士会
有馬 孝禮	15/12/5	KABSE 宮崎講習会	木材は今、地球温暖化とテンバーエンジニアリングのたどった道	K A B S E

3-4 講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会 議 等 の 名 称	内 容	依 頼 者
飯村 豊	15/12/5	KABSE 宮崎講習会	耐久設計と維持管理	K A B S E
小田 久人	15/12/11	乾燥技術セミナー	特殊乾燥について	日本木材加工技術協会 九州支部
飯村 豊	15/12/15	宮崎地方裁判所講演	木材の特性について	宮崎地方裁判所
有馬 孝禮 飯村 豊	16/1/22	宮崎県間伐材利用促進 連絡会	公共土木事業において間伐 材等の木材利用の推進	宮崎県
飯村 豊	16/1/24	木の建築フォーラム岩国	現代の木造橋	木の建築フォーラム
有馬 孝禮	16/1/27	森のフォーラム	木材利用と地球環境問題	読売新聞社
有馬 孝禮	16/1/30	鹿児島県木造住宅研修 会	環境・資源面からみた木材 利用の意義	鹿児島県
飯村 豊	16/2/9	宮崎県産材販売促進フ ェア	大型木造建築物の事例紹介	宮崎県林務部 木材振興課
有馬 孝禮	16/2/12	スギシンポジウム	木材は今	宮崎県
小田 久人	16/2/12	スギシンポジウム	宮崎県における木材乾燥の 取り組み	宮崎県
小田 久人 蛭原 啓文 森田 秀樹 迫田 忠芳	16/3/2	平成 15 年度木材乾燥 技術者養成研修会（東 郷町）	講演「高含水率スギ心持ち 柱材の高温低湿乾燥法の検 討」等	宮崎県木材協同組合 連合会
有馬 孝禮	16/3/6	健康住宅普及協会支部 講演会	居住環境と木材	健康住宅普及協会 東海支部

3-4 講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会 議 等 の 名 称	内 容	依 頼 者
藤元 嘉安	16/3/18	木質断熱材開発委員会 (大阪市)	「木質断熱材開発に関する 研究報告（平成 15 年度）」	国産材住宅（協）
有馬 孝禮	16/3/26	持続性木質資源工業技 術研究会	資源循環型社会における木 材利用の展開	持続性木質資源工業技 術研究会 (独)産業技術総合研究 所中部センター

3-5 取 材

氏 名	期 日	題 名	主 催 名
飯村 豊	15/5/1	木で橋も作れましたー。 スギは新たな建築材料です。	月刊カリコボーズ
飯村 豊	15/6/13	「土木の風景ーかりこぼうず大橋」	日経コンストラクション
飯村 豊	15/9/17	木材界にも明るい未来ー変遷する構 法などを勉強	夕刊デイリー（日向）
有馬 孝禮	15/11	「思い」を伝える木造建築	新建ハウジング 第 283 号
飯村 豊	16/1/8	森と命人の営み「県産スギ力引き出 すー未来へ進む研究開発」	読売新聞
飯村 豊	16/1/29	「まもなく完成！未来型ドーム」	N H K まるごと宮崎
有馬 孝禮 福山 昌男	16/2/11	宮崎産スギを巡る利用技術の周辺を 探る…また圧密スギをフローリング に多用した新たな事例も語り合った	㈱ウッドミック No.252
飯村 豊	16/3	林業王国宮崎の新しい「木の生かし かた」	I Love Miyazaki みやざき